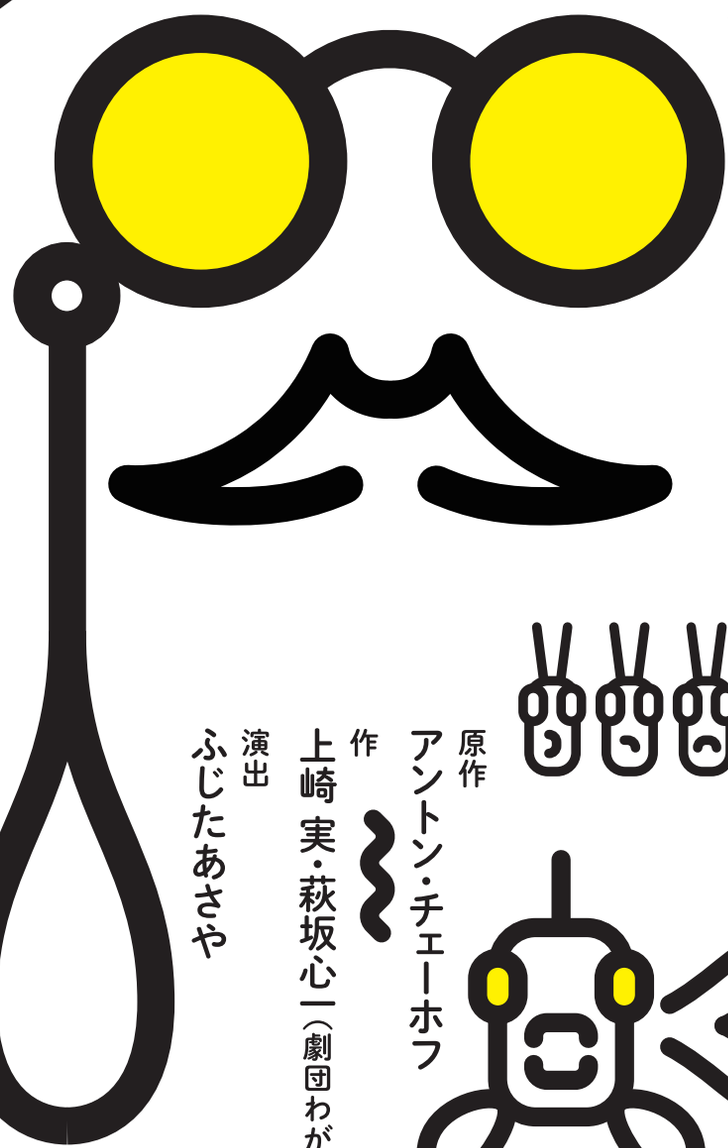
しんゆりシアター 劇団わが町

第16回公演

チェーホフ入門



チェーホフって、
こんな作家だったのか！
笑いながら、泣いている。
それがチェーホフだ！

原作 アントン・チェーホフ
作 上崎 実・萩坂心一（劇団わが町）
演出 ふじたあさや

2026年12月4日（金）～12月6日（日）
川崎市アートセンター 小劇場

料金：一般3,500円
U30割（30歳以下）2,700円
子ども（中学生以下）1,500円
障がい者割引 2,700円（全席指定・税込）

発売日：2026年10月26日（月）

主催・会場・お問合わせ：川崎市アートセンター
TEL：044-955-0107　https://kawasaki-ac.jp/th/
後援：川崎市教育委員会／NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

川崎市アートセンター kawasaki ART center
パ めざせ！やさしさ日本代表！ かわさきパラムーブメント
しんゆり・芸術のまち
文化庁

やさしさリレーによるギフトチケット
地元企業、団体、個人からの寄付を募り、公演を鑑賞したい小中学生のみなさんにチケットをプレゼント！

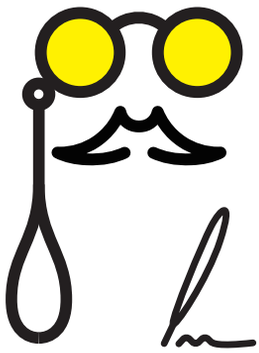
観劇支援
※12月6日（日）12：00の公演のみ
託児サービス、音声・字幕ガイドを実施します。

詳細は右記二次元コードよりご確認ください。

しんゆりシアター 劇団わが町

第16回公演

チェーホフ入門



チェーホフって、こんな作家だったのか！
笑いながら、泣いている。それがチェーホフだ！

ここ3年、劇団わが町は、川崎市市制100年に因んで、川崎三部作と称して、川崎の歴史や民俗文化に関わる作品ばかりを、上演してきました。それは、市民劇らしい路線でしたが、3年も続くと、地域をテーマとすることの意義は認めながらも、変化を求めたくなり、海の向こうとも通じ合うような、広い、高く深いテーマを描きたくなりました。そこでひらめいたのが、チェーホフです。

11年前、劇団わが町は『ザ・チェーホフ』というタイトルで、彼の短編小説からオムニバス劇を創りました。「チェーホフの短編小説を読んでみよう。面白いと思ったら、脚色してごらん」と言ったところ、にわか劇作家が、なんと20人も現れたのです。中には小学生までいました。みんな喜劇作家としてのチェーホフを面白がっていました。その結果、それまで悲劇と思われたり、叙情的だと思われてきたチェーホフに、別の光を当てることが出来ました。その路線を、発展させようというのです。

チェーホフは、作家である前に医者でした。医者の目で、人の心を読み、社会の仕組みを見抜き、ロシアの裏側を見据えたのです。

11年の間にチェーホフ研究も進んで、チェーホフに当てられる光も随分変わりましたし、状況の変化は、これまでにない役割を、チェーホフに与えているように思い、そうした状況に合わせて、作品を発展させるように努めました。

観に来てください、チェーホフさん。

劇団わが町芸術監督　ふじたあさや

しんゆりシアター

小劇場で創造発信する公演を「しんゆりシアター」と名付け、地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この仕組みを理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点となる地域劇場を目指します。

スタッフ

原作：アントン・チェーホフ
作：上崎 実・萩坂心一（劇団わが町）
演出：ふじたあさや　美術：池田ともゆき
照明：坂本義美　音楽：藤原 豊
音響：山北史朗　衣裳：宮岡増枝
舞台監督：野口岳大
演出協力：原田 亮（Platanus）
演出助手：森山蓉子（Platanus）
宣伝美術：中村圭介（ナカムラグラフ）
主催：川崎市アートセンター
企画・制作：川崎市アートセンター／NPO法人KAWASAKIアーツ

劇団員

安達原 泉、池田圭子、池田紗菜、石倉聡乃、上村健太郎、圓崎大和、圓崎弥生、大野倫子、小野瑞穂、加藤 環、加藤悠愛、神元心知、菊池真希子、清川麗文、小宮 祥、境 ひなた、酒井道子、酒井みな実、佐々木直子、さとうあつこ、椎野 遥、嶋 祐子、城本眞人、城本裕代、杉本麻美那、髙木良平、髙橋良子、田中由美子、坪井 翔、徳井知美、徳留比佐子、永里幸太郎、中田 結、中野冬椛、中原璃芽、夏野みづほ、夏堀妙子、西嶋美晴、萩坂心一、橋迫千明、日野順子、平井陽菜、藤田大樹、三浦久尚、三上優里、宮川 怜、宮崎真悠子、宮野華菜、森 公洋、柳瀬健太郎、山田スミ子、山田睦実、山田誠浩、結城裕人、吉田歩美　※五十音順

劇団わが町

2012年6月に生まれたゆるやかな劇団です。劇団員は地域住民の方々、総勢55名。年齢制限はなく、現在12～85歳までのメンバーが所属しています。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行なっていきます。

公演日時

2026年12月4日（金）～12月6日（日）

チケット（全席指定・税込）

発売日：2026年10月26日（月）
料金：一般3,500円　U30（30歳以下）2,700円
子ども（中学生以下）1,500円　障がい者割引 2,700円

	12/4（金）	12/5（土）	12/6（日）
12:00			☆
13:00		○	
17:00			○
18:00		○	
19:00	○		

※開場は開演の30分前／☆＝鑑劇支援

*推奨年齢：小学生以上
*電子チケット（WEB販売のみ）ご希望の方は引き取り方法で「チケットれすQ」をお選びください。
*障がい者割引は電話・窓口にてお取り扱い。（要障がい者手帳／付添1名まで同額）
*U30のお客様は公演日に身分証のご提示をお願いする場合がございます。
*車いすでご来場のお客様は当日のスムーズなご案内のためチケット購入後、事前に川崎市アートセンターまでご連絡をお願いいたします。

公開ゲネプロを見学しませんか？

ゲネプロとは本番同様の環境で行う最終リハーサルです。一部出演者や演出内容が変更されたり、途中で中断せざるを得ない場合もございます。
実施日時：11月29日（日）16:00開始（開場30分前）
料金：1,500円（全席自由）／発売日：2026年11月16日（月）

取扱い：しんゆりチケットセンター
（川崎市アートセンター内）
窓口：9:00～19:30（毎月の施設点検日を除く）
電話：044-959-2255（9:00～19:30）
WEB：https://kawasaki-ac.jp

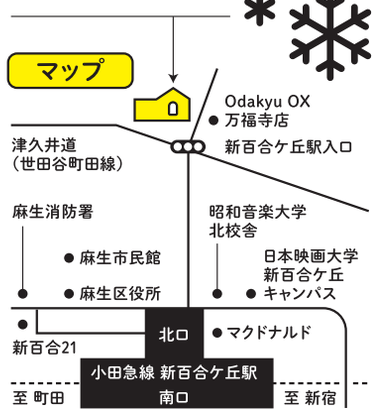
劇団員募集

劇団わが町では、2027年12月公演に向け、2027年春に劇団員オーディションを開催します。
詳細は2027年2月末発表！

会場・お問合わせ

川崎市アートセンター
小劇場
〒215-0004
神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL：044-955-0107
https://kawasaki-ac.jp/th
★小田急線新百合ケ丘駅北口徒歩3分
★駐車場はございません。

マップ



@kactheater
@kawasaki_artcenter